

工事名	交通連携推進事業(国道結節点改築) 第2-1-1橋-1号	工事概要
河川・路線名	一般国道308号	本工事は、多大な交通量(約6万台/日)の中で現道を切り回し、一般車両や歩行者の安全な通行を確保しながら施工をした橋梁下部(橋脚)工事である。  工事延長 L=840m 橋梁下部工 (T型橋脚15基 H=8.7~10.4m)
施工箇所	奈良市宝来町~菅原町	
工期	平成20年10月9日 ~ 平成21年12月8日	
会社名	大日本土木・中西建設・廣岡建設JV	
発注機関名	奈良土木事務所	
表彰理由	<p>本工事の施工箇所は、奈良県において最も交通量の多い路線であり、沿道には商業施設、住宅が密集し、更に、工程的に橋梁上部工等他工事が輻輳しているなど厳しい施工条件のもと、品質確保に配慮した工事である。</p> <p>橋脚の梁部等(特に、梁部上面はコンクリート構造物の弱点である引張応力箇所)に生じる初期ひび割れ(温度ひび割れ)は、橋脚自体の損傷・劣化を招くだけでなく、伸縮継手等の橋梁付属物、さらには、橋梁支承部の損傷・劣化を招き、耐久性に影響を及ぼす欠陥となる。</p> <p>今回の施工では、あらかじめ有害なひび割れ発生箇所を予測し、ひびわれ抑制対策に工夫した。また、コンクリートの養生・締固め等各施工過程においても、ひび割れ抑制に努めた。その結果、予測された箇所にひび割れは見られず、一部に微細なひび割れは見受けられたものの、全体的にひび割れが少なく、耐久性向上のための秀でた取り組みとして評価出来るものである。</p> <p>また、その他の取り組みとして、工期の重複した他の施工業者の中でリーダーシップを発揮し、積極的な工程調整を行うなど工程管理への取り組みや、住民生活環境の保全のため、騒音対策などの環境配慮への取り組み、また、交通誘導等に工夫した安全管理への取り組みを行った。</p> <p>以上の取り組みにより、品質の確保と共に、出来映えも良く、他の工事の模範となることから優良工事にふさわしい工事として選定するものである。</p>	

写真(全景)



工事名	総合治水対策事業（都市河川）	工事概要
	第1-2-4号・第1-2-1号	
河川・路線名	地蔵院川	本工事は、井堰湛水区間であると共に、左岸部が住宅団地に近接しており、環境、安全に十分配慮しながら施工した護岸工事である。
施工箇所	大和郡山市稗田町	
工期	平成21年12月26日 ～ 平成22年3月25日	工事延長 L=94.4m 法覆護岸(多自然型ブロック A=1,064㎡)
会社名	高田重機建設(株)	
発注機関名	郡山土木事務所	
表彰理由	<p>本工事の施工箇所は、下流にある井堰のため常水位が高い区間であると共に、左岸部が住宅団地が近接している施工条件のもと、地元水利組合や近隣自治会とのコミュニケーションを図りながら品質確保に配慮した工事である。</p> <p>河川護岸工事など常時流水の存在する区間では、流水の浸透は、護岸基礎コンクリートの品質低下と共に、堤体自体の耐久性低下につながる。 今回の施工では、施工基面への流水の浸透を防止する工夫を行ない、護岸の品質向上と堤体の耐久性向上に努めた。</p> <p>また、その他の取り組みとして、近隣住民による工事期間中に寄せられる意見・要望に対し、速やかに対応をおこなう環境配慮への取り組みや、護岸ブロック敷設方法の工夫により、止水材の損傷・ずれ防止及び施工性向上への取り組みを行った。</p> <p>以上の取り組みにより、品質の確保と共に、ブロック据え付け状況等構造物の仕上りも良く、他の工事の模範となることから優良工事にふさわしい工事として選定するものである。</p>	

写真(全景)



工事名	地方道路交付金事業(街路改良)	工事概要
	第522-9号	
河川・路線名	(都)中和幹線	本工事は、中和地域の拠点道路である中和幹線において、高架区間の橋脚および地下立体交差のU型擁壁などを築造する工事である。
施工箇所	香芝市下田東	
工期	平成19年12月18日 ~ 平成22年3月26日	工事延長 L=131m 橋脚工3基、U型擁壁工、ボックスカルバート工
会社名	春山組・北野組・福井組JV	
発注機関名	高田土木事務所	

表彰理由

本工事の施工箇所は、中和幹線の高架区間の橋脚および地下立体交差のU型擁壁・ボックスカルバートを築造する工事であり、市街地内の鉄道近接区間等厳しい施工環境・条件のもと、品質確保に配慮した工事である。

現場打ちコンクリートによる橋脚、U型擁壁、ボックスカルバートでは、適切な施工管理がなされないと温度ひび割れ・収縮ひび割れによる初期ひび割れが懸念され、構造物の耐久性低下につながる。

今回の施工では、コンクリートの内部と外部の温度差を少なくするため、型枠存置期間や養生方法等打設時の施工管理に工夫し、耐久性向上に努めた。その結果、各構造物ともにひび割れが少なく、耐久性向上に寄与するものとなっている。

また、その他の取り組みとして、他工事との綿密な工程調整を行う工程管理への取り組みや、現道の安全確保を配慮した警備を行う安全管理への取り組み、また、周辺住民への生活環境負荷を軽減するための環境配慮への取り組みを行った。

以上の取り組みにより、品質の確保と共に、出来映えも良く、他の工事の模範となることから優良工事にふさわしい工事として選定するものである。

写真(全景)



工事名	地方特定道路整備事業(道路改良)	工事概要
	第21-1-1号	
河川・路線名	下市宗桧線	本工事は、連続する家屋のすぐ前面の非常に狭小な施工範囲の中で、深礎杭式擁壁、親杭自立式擁壁を築造する現道拡幅工事である。  工事延長 L=39m 深礎杭式・親杭自立式擁壁工 L=39m
施工箇所	吉野郡下市町下市	
工期	平成21年3月19日 ～ 平成22年2月16日	
会社名	浦西産業株式会社	
発注機関名	吉野土木事務所	
表彰理由		

本工事は、連続する家屋のすぐ前面の非常に狭小なエリア内での現道拡幅工事であり、騒音などの周辺環境対策に関して、きめ細かな対応を行い、品質確保に配慮した工事である。

兵庫県南部地震以降、耐震設計が見直され、鉄筋コンクリート構造物の配筋量は、それまでと比べて著しく増加した。その結果、高密度配筋となり、適切な施工管理がなされないとコンクリートの充填性が確保ができず、均一で密実なコンクリートの打設が厳しい状況となり、構造物の耐久性低下に繋がる。また、当該構造物は施工手順上、上部を先行してコンクリート打設を行う逆打ち工法となるため、打ち継ぎ部の空隙が生じやすくなることも、耐久性低下を招くものである。

今回の施工では、充填性確保のため材料選定に配慮した上で、また、打ち継ぎ部対策のため、振動機のかけ方に工夫し、耐久性向上に努めた。その結果、打ち継ぎ部を含む構造物全体に空隙、ジャンカが見受けられず、耐久性向上に寄与するものとなっている。

また、その他の取り組みとして、周辺住民への生活環境負荷を軽減するため、施工方法の工夫による騒音対策、現場からの濁水抑制対策など環境配慮への取り組みを行った。

以上の取り組みにより、品質の確保と共に、出来映えも良く、他の工事の模範となることから優良工事にふさわしい工事として選定するものである。

写真(全景)

